

視聴覚教育

NO. 388

発行日

24.12.14

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語『ICT』

ITとは「インフォメーション・テクノロジー」の略で、情報伝達を意味する言葉である。そこに「C:コミュニケーション」が入ったものがICTである。「情報通信技術」と訳される。昔の「IT企業」は、現在は「ICT企業」と言われることが多い。

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部会

研修部会では、今年七月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育（第四十四号）』に掲載されるが、ここではその概要を述べる。

おもなデジタル機器の1校あたりの平均保有数は、【表1】の通りである。今年度は、既に設置されている大型ディスプレイを有効利用するため、普通教室に書画カメラを導入した学校が増えた。そのため、書画カメラの数が大きな変化として現れた。今後は大型ディスプレイを生かすためにブルーレイプレーヤーの導

【表1】主なデジタル機器の平均保有数（台）

機器名	小学校	中学校	小中全体
DVDプレーヤー※1	20.6	18.8	20.1
DVDレコーダー※2	1.0	1.6	1.2
デジタルビデオカメラ	3.9	5.3	4.3
ビデオプロジェクター	3.4	3.7	3.5
ブルーレイプレーヤー	0.06	0	0.05
教材提示装置(書画カメラ)	14.4	10.7	13.3

※1 ポータブルタイプ、VHSとのダブルデッキも含む

※2 HDD、HDD・VHSダブルレコーダー両方合わせたの数

入が増えることが予想される。今年度の調査も、デジタルビデオカメラの分類を詳細に行った。調査結果から、従来型のミニDVテープタイプが依然として多かった。【表2】その一方で、昨年度と比較するとHDDタイプのビデオカメラが増えてきている。今後は編集が簡単なHDDタイプのビデオカメラが増えていくことが予想される。最後にアンケート結果を挙げておく。各学校で機器の整備する際の参考にしていただきたい。

【表2】デジタルビデオカメラの内訳（台）

機器名	昨年度合計	今年度合計
ミニDVテープタイプ	196	179
ミニDVDタイプ	16	15
SDカードのみ	6	7
HDDタイプ	60	82

○購入を希望している機器

- ・HDDデジタルビデオカメラ
- ・ブルーレイレコーダー
- ・書画カメラ
- ・外付けHDD
- 最近購入し、便利だと感じた機器
- ・書画カメラ
- ・プレゼンテーションマウス
- ・HDDデジタルビデオカメラ

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

自主サークル「おかざき映像教材研究会」が制作を進めている視聴覚教材が、最後の仕上げの段階に入っています。どの作品も質が高く、子供たちの学びを深めるのに役に立つ教材となりそうです。二月の学習情報主任会で、今年度制作の教材全てを収録したDVDを、各小中学校に配付する予定です。今までの教材と合わせ、授業での積極的な活用をお願いします。



A班『家康ゆかりの地 岡崎』

『ビスタラインにこめられた思い』
（ビデオ教材）対象 小学四年 社会

B班『地域の農業を守る』

『新しい農業のかたちをめざして』
（ビデオ教材）対象 小学五年 社会

C班『魚にこめられた思い』

『岡崎魚市場の役割』
（ビデオ教材）対象 小学五年 社会

D班『岡崎の偉人たち』

（マルチ教材）対象 中学三年 社会

E班『エンジンからモーターへ そして未来へ』

（マルチ教材）対象 中学二年 理科

F班『水質 環境の証人』

（マルチ教材）対象 中学 理科・環境

※各班の教材のタイトルはまだ仮題です。

実践報告Ⅱ

コミュニケーションの方法、メールの利用、

六ツ美北部小学校 内田 慎也

五年生の保健の授業で子供たちは、不安や悩みの対処について学習した。その中で不安や悩みは、「人に相談する」という意見が出た。相談の仕方については、「直接言う」、「電話」、「手紙」、「メール」という四つの方法が出された。「この中で一番よい相談の仕方はどれだろうか」という発問に対して、ある子供から、「直接言えないことも、手紙やメールなら言える」という意見が出された。

その意見を受け、Web教材「事例で学ぶNetモラル」の中から「メールの利用」について授業を行った。

子供たちは、「相手の顔が見えないからこそ言えることがある」「連絡などがとても簡単にできる」とメールの良さを学ぶと共に、それだけでは



「文章だと上手に伝えられないし、かえって相手を傷つけてしまうかもしれない」「相手の顔が見えないから相手が嫌がっているもそれに気が付けない」といった意見があった。子供たちはメールの不便さや怖さも実感することができた。

今後、コミュニケーションの方法や情報モラルを継続して教えていきたい。

Ⅱ レッツ・トライⅡ

「理科ねっとわーく」の活用

理科では様々な分野を学習する。その中には、気象や天体の分野のようにスケールが大き過ぎて、生徒が理解しづらい内容も多くある。そのような時は「理科ねっとわーく」を活用すると、学習する内容をアニメーションなどのコンテンツで疑似体験できる。

「宇宙と天文」の学習では金星の満ち欠けの原理を確認したり、太陽の日周運動の様子を観察したりすることができ

る。「マルチビユー天気教材」では、前線のでき方や雲の動きと天気図の変化の様子などを確認することが可能である。他にも多くのコンテンツがあり、授業の中で活用できるものがある。

「理科ねっとわーく」を使用するには申請が必要であるが、インターネット上で簡単に登録できる。興味のある方はぜひ登録して、豊富なコンテンツを一度見て、授業に生かしてみたいかがだろうか。



「ハイブリッドな」

「教育行事の編集と配信について」

視聴覚ライブラリーでは、岡崎市内で開催される各種教育行事の撮影を行っています。撮影したものは編集して、CATVミックスの「チャンネルおかざき」に配信しています。(放送時間 毎日午前10時～正午の二時間)平成二十四年度は、市内小中学校の研究発表会(恵田小、大樹寺小、新香山中)や、総合体育大会、おかざきっ子展などの番組を制作してきました。制作した番組は、「チャンネルおかざき」への配信だけでなく、DVD等へのダビングサービスも行っていますのでご利用ください。

《情報モラル講座のご案内》

情報モラル教育の重要性が増しています。情報モラルは、子供にその力を育成することはもちろんのこと、保護者にも意識を高めていただけるよう働きかけることが大切です。さて、視聴覚ライブラリーでは、情報モラルについての講師を派遣しております。保護者や地域の方々を対象に、ネット社会の危険な現状や、子供をインターネットの闇から守るための具体的な手だて、メディアと健康などについて、学校の要望に合わせたお話をします。ぜひご利用ください。

問い合わせ先 視聴覚ライブラリー

(新香山中学校 長瀬裕二)

☎ 23・6789

